

## これからの生活支援体制整備事業について（案）

□ は各年度の重点取組事項

	平成 28 年度	平成 29 年度（予定）	平成 30 年度（予定）
主な事業展開	広域型生活支援コーディネーター1 名を (福)吹田市社会福祉協議会（吹田市社協） に配置  高齢者生活支援体制整備協議会（年3回開催）	広域型生活支援コーディネーター1 名を 吹田市社協に配置  高齢者生活支援体制整備協議会（年4回開催） <b>介護予防・日常生活支援総合事業開始</b> <b>（現行相当サービスの提供）</b>	広域型生活支援コーディネーター1 名を 吹田市社協に配置  <b>吹田市社協に配置している CSW を地域</b> <b>型生活支援コーディネーターに位置づけ</b> 高齢者生活支援体制整備協議会（年4回開催） <b>介護予防・日常生活支援総合事業の展開</b> <b>（新しいサービスの提供）</b>
① 広域型生活支援 コーディネーター の活動の周知	地域包括支援センターや関係機関、 各ブロック地域ケア会議で周知  協議会に活動報告	協議会に活動報告	協議会に活動報告
② サービスの把握と ネットワーク化	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の地域活動の把握</li> <li>「高齢者の集いの場」リストの作成</li> <li>生活支援サービスのリスト化</li> <li>シニアの活動場所のリスト化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活支援サービスのリストの作成</li> <li>シニアの活動場所のリストの作成</li> <li>作成済みリストの活用及びメンテナンス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作成済みリストの活用及びメンテナンス</li> </ul>
③ 生活支援ニーズの 把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の生活支援と社会参加に関する 調査の実施と調査結果の報告</li> <li>地域包括支援センター、CSW、介護 保険事業者連絡会との意見交換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>高齢者の生活支援と社会参加に関する 調査結果の報告・活用</b></li> <li><b>CSW との連携による地域課題の洗い 出しと関係機関との課題共有</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域型生活支援コーディネーターを 中心とした地域課題の共有</li> <li>広域型生活支援コーディネーターに よる全市域課題の共有</li> </ul>
④ 新たな生活支援 サービスの創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>入浴ニーズの解決【地区モデルケース】</li> <li>元気な高齢者が担い手となるような 仕掛けづくりに向けた準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>高齢者を担い手とした生活支援サー ビスの実施に向けた検討</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>高齢者を担い手とした生活支援サー ビスの実施</b></li> <li><b>地域型生活支援コーディネーターによ る生活支援サービスのコーディネート</b></li> </ul>

## 強化すべき点

★CSW との連携強化 → CSW を交えた意見交換会の開催

★高齢者生活支援体制整備協議会を主軸にした体制整備の推進 → 生活支援コーディネーターを中心とした協議会の運営